写

認　定　書

国住指第　3382　号
令和　2　年　2　月　10　日

ニチハ株式会社
代表取締役社長　山中　龍夫 様

国土交通大臣　　赤羽　一嘉

下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
　　FP030RF-1763-2(1)

2. 認定をした構造方法等の名称
　　葺材［ステンレス鋼板製、鋼板製、銅合金板製又はチタン板製］・硬質木片セメント板表張／軽量鉄骨下地屋根

3. 認定をした構造方法等の内容
　　別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別　添

1. 構造名：
葺材［ステンレス鋼板製、鋼板製、銅合金板製又はチタン板製］・硬質木片セメント板表張／軽量鉄骨下地屋根

2. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1　仕様の寸法

項　目	仕　様
支持部材間隔	2000mm以下
たるき間隔	607mm以下
屋根葺材の種類	仕様：①～⑧の一 ①平葺き ②たて平葺き ③かわら棒葺き ④段葺き ⑤横葺き ⑥金属がわら葺き ⑦平滑葺き ⑧折板葺き 働き幅：610mm以下 はぜの高さ又は山高さ：3(－1)mm以上

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2　仕様の主構成材料

項　目	仕　様
たるき	材料：一般構造用軽量形鋼(JIS G 3350) 形状・寸法：(1)又は(2) (1)⊏－100×50×20×2.3mm以上 (2)□－100×50×2.3mm以上
屋根葺材	仕様：(1)～(4)の一 葺材単位面積質量：6.5kg/m²以下 塗装品の塗装の種類：1)～8)の一 1)ポリエステル系樹脂塗料 2)アクリル系樹脂塗料 3)シリコーン系樹脂塗料 4)アミノ・アルキド系樹脂塗料 5)塩化ビニル系樹脂塗料 6)フッ素系樹脂塗料 7)エポキシ系樹脂塗料 8)ウレタン系樹脂塗料 塗布量：65g/m²以下(片面)、130g/m²以下(両面)
(1)ステンレス鋼板	材料：①、②又は③ ①塗装ステンレス鋼板(JIS G 3320) (国土交通大臣認定不燃材料：NE-0042、NE-0046) ②熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304) ③冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305) 厚さ：0.3～0.8mm
(2)鋼板	材料：①～㉑の一 ①塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) ②溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) ③塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ④溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) ⑤塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) ⑥溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) ⑦電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313) ⑧溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ⑨両面ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-9583、NM-9584) ⑩フッ素樹脂系塗装／裏面ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-9662) ⑪両面アクリル樹脂系塗装／亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8341、NM-8514) ⑫両面ポリエステル樹脂系塗装／溶融アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-1863)

つづく

つづき

屋根葺材	(2)鋼板	⑬塗装／亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) ⑭建築構造用溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0365及び0395) ⑮フッ化ビニリデン樹脂系塗装／両面アクリル・塩化ビニル樹脂系塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8400) ⑯アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8027) ⑰ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8028) ⑱塗装亜鉛合金板／塗装鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0040、NE-0044) ⑲亜鉛合金板／塗装鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0041、NE-0045) ⑳塗装亜鉛合金板／鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0042、NE-0046) ㉑亜鉛合金板／鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NE-0043、NE-0047) 厚さ：0.3～1.6mm
	(3)銅合金板	材料：伸銅品(JIS H 3100)、(JIS H 0500)、(JIS H 5120)、 又は(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8586～NM-8595の一) 厚さ：0.3～0.8mm
	(4)チタン板	材料：チタン展伸材(JIS H 4600)、(JIS H 4657)、 又は(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8596) 厚さ：0.3～0.8mm
裏打材		仕様：なし
野地板		材料：硬質木片セメント板(JIS A 5404) 厚さ：18(－2)mm以上 密度：1.1(－0.1)g/cm³以上 表面化粧： 種類：①～⑦の一、又はその組み合わせ ①アクリルウレタン樹脂系塗料 ②アクリル樹脂系塗料 ③アクリルシリコーン樹脂系塗料 ④ふっ素樹脂系塗料 ⑤エポキシ樹脂系塗料 ⑥無機質系塗料 ⑦なし 塗布量：200g/m²以下(有機質固形分量)

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3　仕様の副構成材料

項　目	仕　様
たるき取付金物	材料：一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) 形状・寸法：①～③の一、又は組合せ(但し、②についてはたるきダブル部位のみに使用) ①不等辺山形鋼又は山形鋼L－75×75×6mm以上 ②平鋼FB－6×75×65mm以上 ③リブ付き山形鋼L－75×75×6mm以上 リブ寸法：10×40×1.6mm以上 リブ本数：1本以上
たるき留付材	材料：①及び②、又は③ ①六角ボルト(JIS B 1180) 寸法：M12×25mm以上 ②ナット(JIS B 1181) 寸法：M12以上 ③アーク溶接 溶接幅：2.3mm以上 溶接長さ：20mm以上
防水材	材料：①～⑤の一 ①アスファルトルーフィングフェルト(JIS A 6005) ②合成高分子系ルーフィングシート(JIS A 6008) ③改質アスファルトルーフィングシート(JIS A 6013) ④改質アスファルトルーフィングシート (JWMA規格ARK04S-04、ARK08-02、ARK14W-04、ARK16K02) ①～④の単位面積質量の呼び：1500以下 ⑤透湿防水シート(JIS A 6111) 単位面積質量：1500g/m²以下
吊子	(葺材仕様：①～⑤、⑦及び⑧の場合) 仕様：あり又はなし 材料・厚さ：屋根葺材と同じ 取付間隔：800mm以下
捨て板	(葺材仕様：①、④及び⑤の場合) 仕様：あり又はなし 材料・厚さ：屋根葺材と同じ 取付間隔：800mm以下
かわら棒包み板	(葺材仕様：③の場合) 材料・厚さ：屋根葺材と同じ
ジョイナー	(葺材仕様：⑦の場合) 材料・厚さ：屋根葺材と同じ
タイトフレーム	(葺材仕様：⑧の場合) 仕様：あり又はなし 材料・厚さ：屋根葺材と同じ 幅　：35mm以上 取付間隔：800mm以下
キャップ	(葺材仕様：②、③、⑤、⑦及び⑧の場合) 仕様：あり又はなし 材料・厚さ：屋根葺材と同じ

つづく

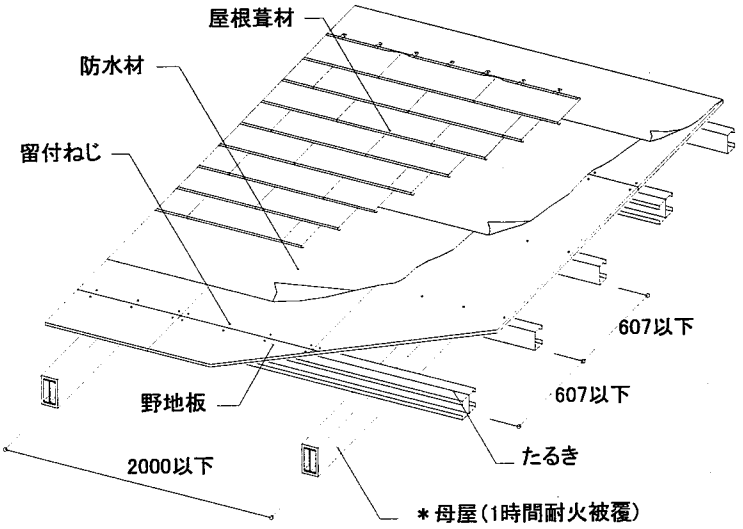
つづき

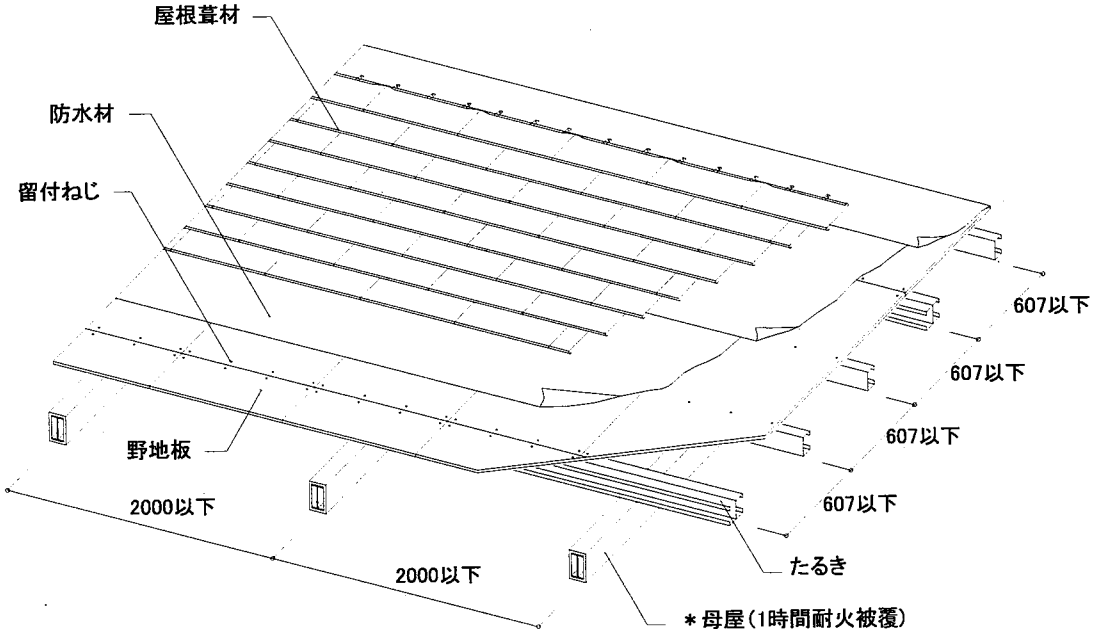
野地板目地	仕様：①～④の一 ①目透かし目地＋ジョイナー ジョイナーの材料：屋根葺材と同じ ジョイナーの厚さ：0.27㎜以上 ジョイナーの形状：T型又はH型 ②突付け目地 ③突付け目地＋ジョイナー ジョイナーの材料、厚さ及び形状：①と同じ ④突付け目地＋テープ テープの材質：アルミニウム テープの厚さ：0.2㎜以上 テープの幅：20㎜以上
留付材	屋根葺材固定用： 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ3.0×長さ10㎜以上 留付間隔：800㎜以下
	野地板固定用： 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ4.0×長さ30㎜以上 留付間隔：303㎜以下
	吊子固定用： (葺材仕様：①～⑤及び⑦の場合) 材料：ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ3.0×長さ10㎜以上 (葺材仕様：⑧の場合) 材料：ボルト 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：M6×長さ20㎜以上
	タイトフレーム固定用：(タイトフレームを用いる場合) 仕様：①又は② ①ねじ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 寸法：胴部径φ4.0×長さ30㎜以上 ②アーク溶接 溶接幅：2.3㎜以上 溶接長さ：20㎜以上

5. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図17に示す。

寸法単位：mm



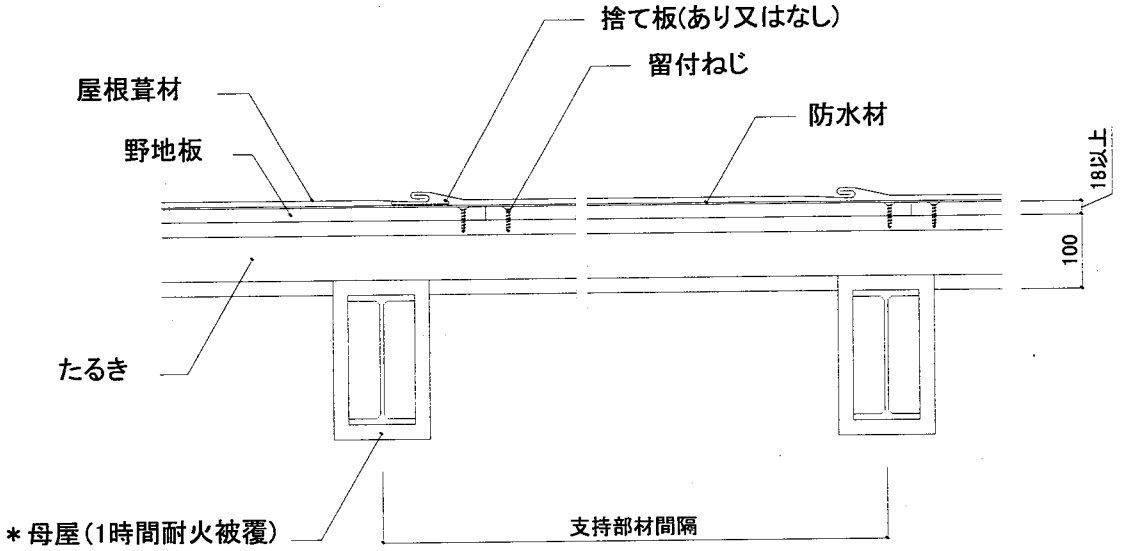


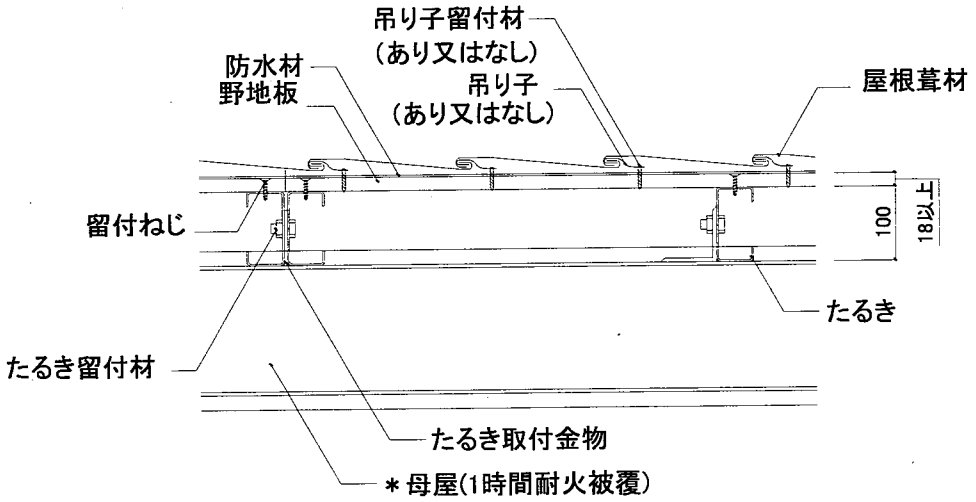
＊評価対象外

（屋根葺材の種類：①平葺きの場合）

図1　構造説明図

寸法単位：mm



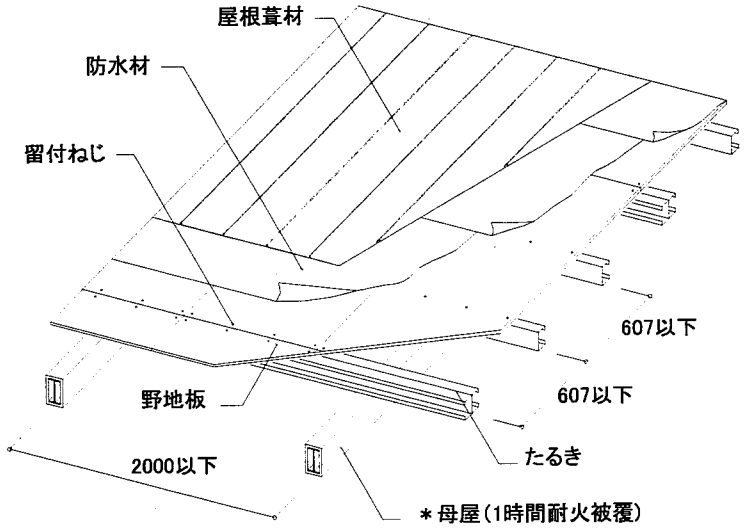


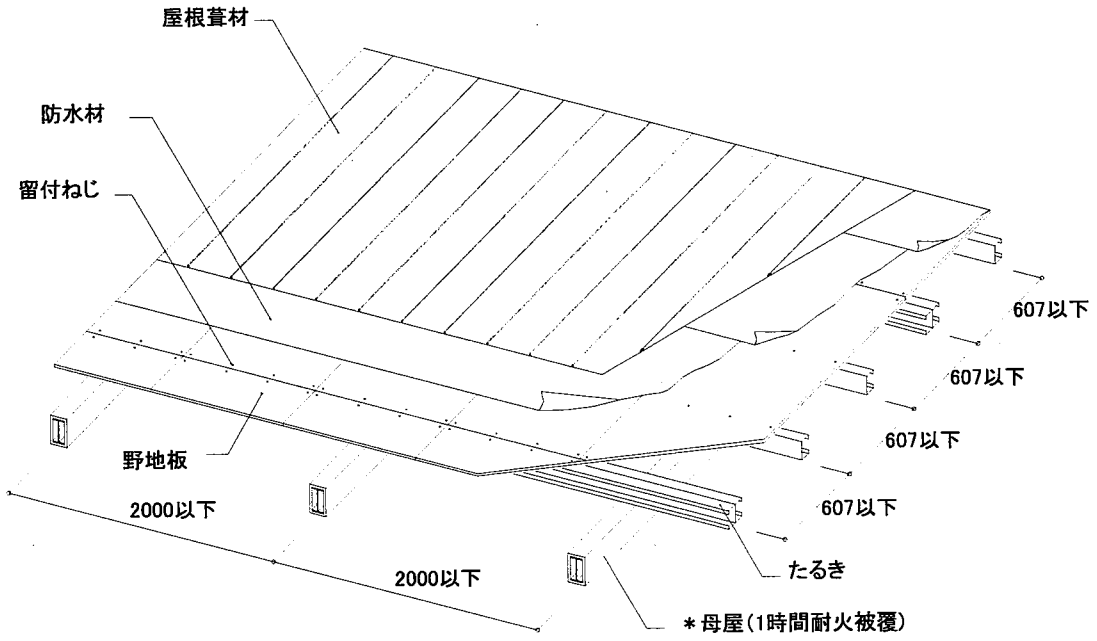
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：①平葺きの場合)

図2　構造説明図

寸法単位：mm



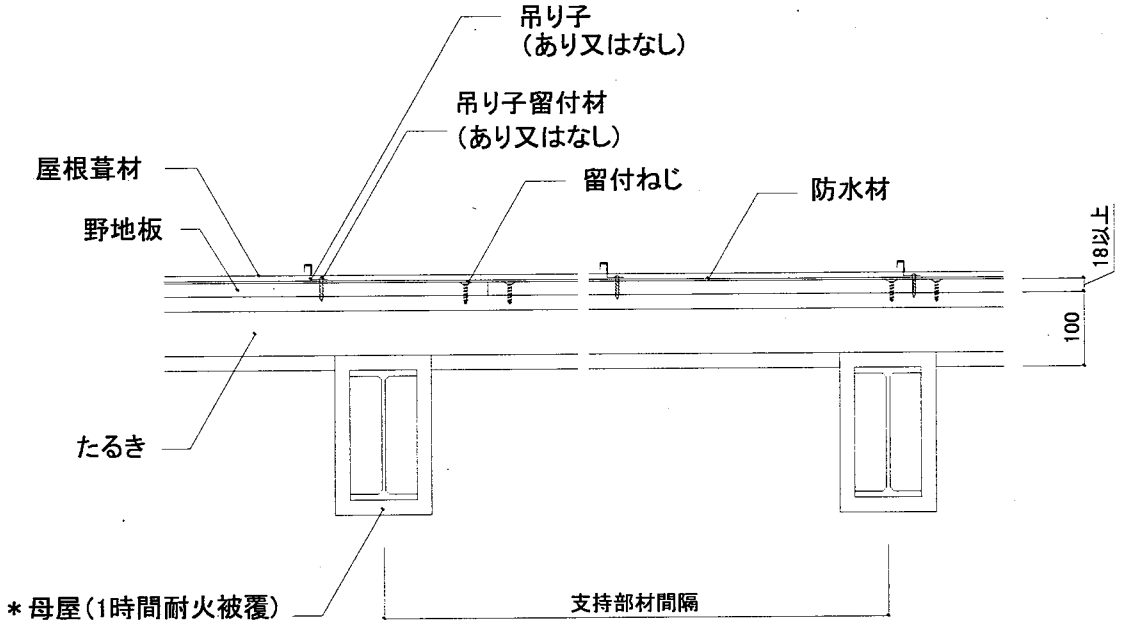


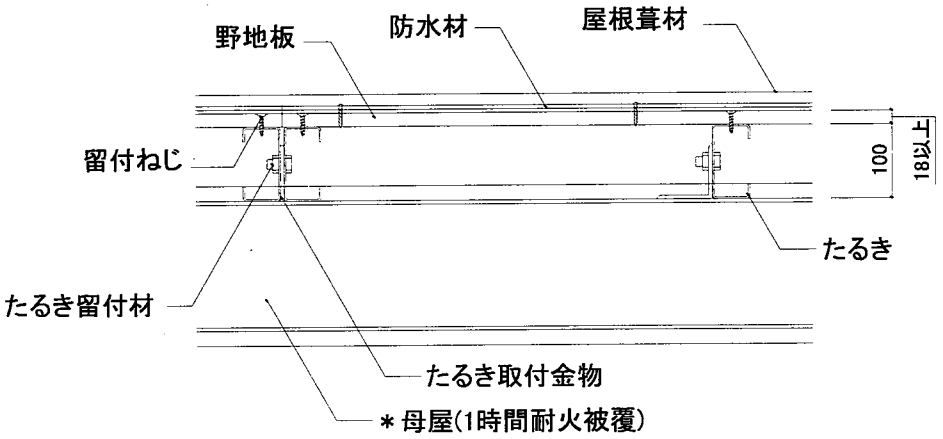
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：②たて平葺きの場合)

図3　構造説明図

寸法単位：mm



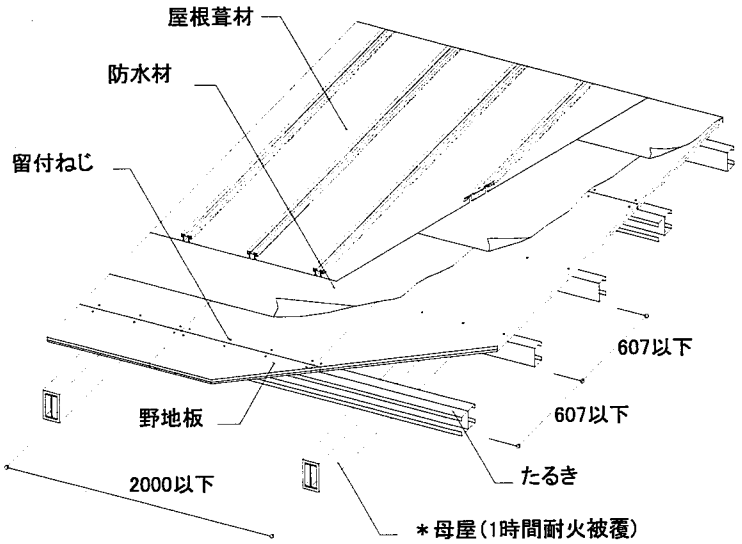


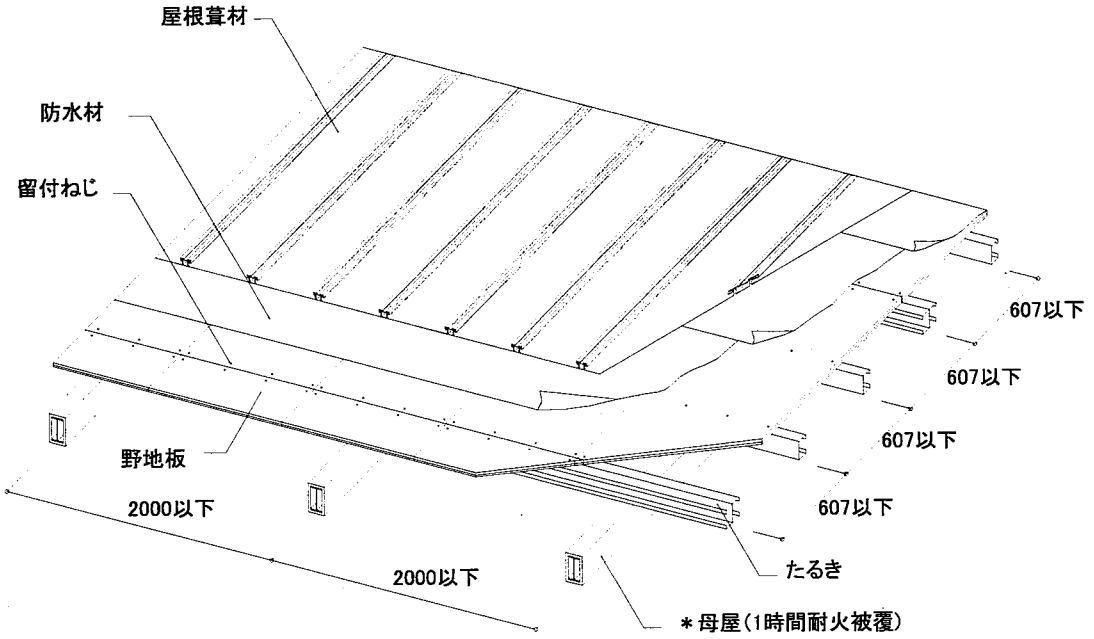
＊評価対象外

（屋根葺材の種類：②たて平葺きの場合）

図4　構造説明図

寸法単位：mm



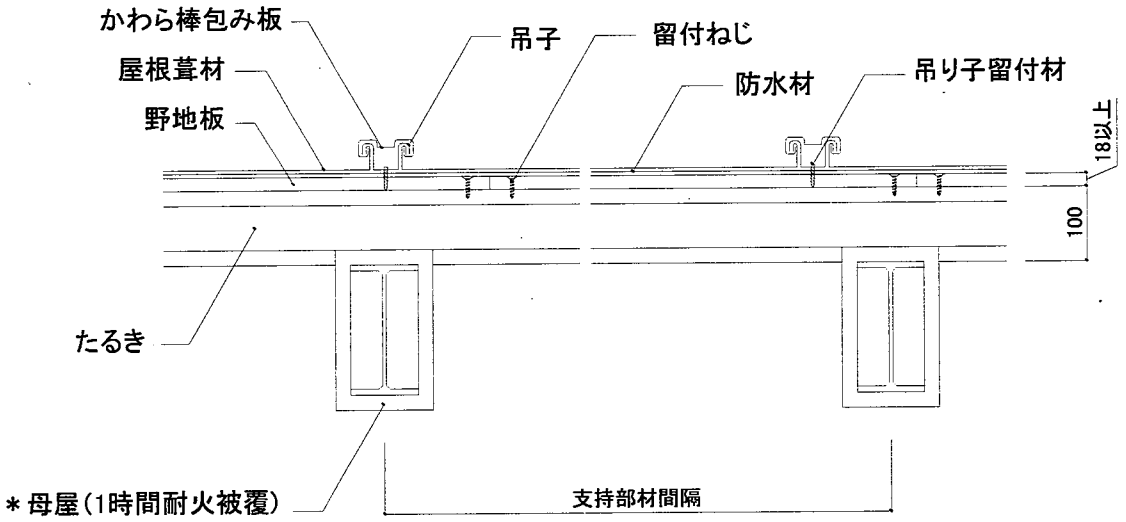


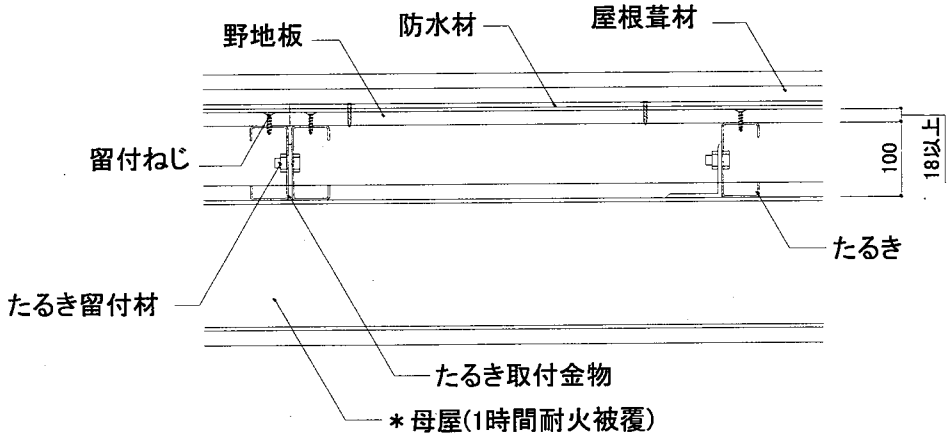
＊評価対象外

（屋根葺材の種類：③かわら棒葺きの場合）

図5　構造説明図

寸法単位：mm



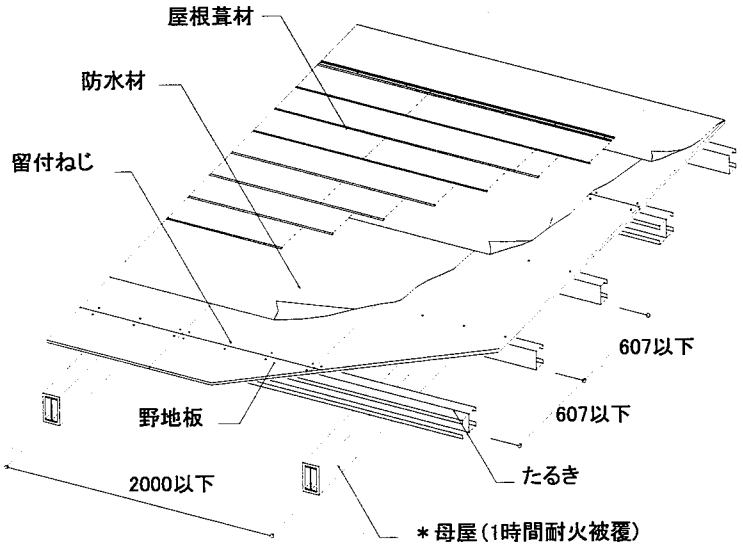


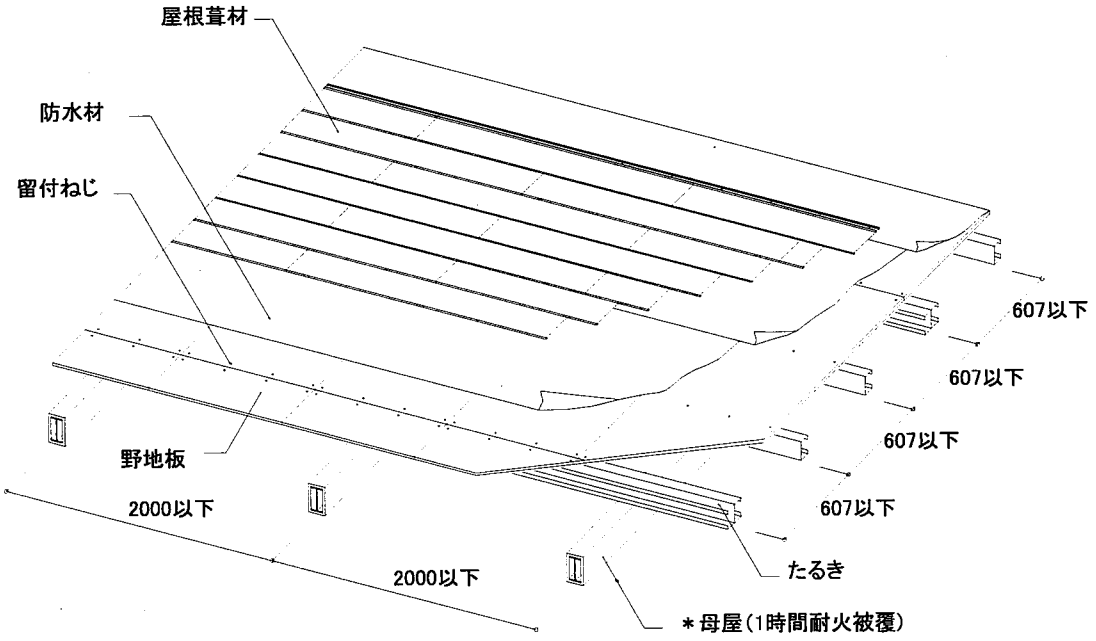
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：③かわら棒葺きの場合)

図6　構造説明図

寸法単位：mm



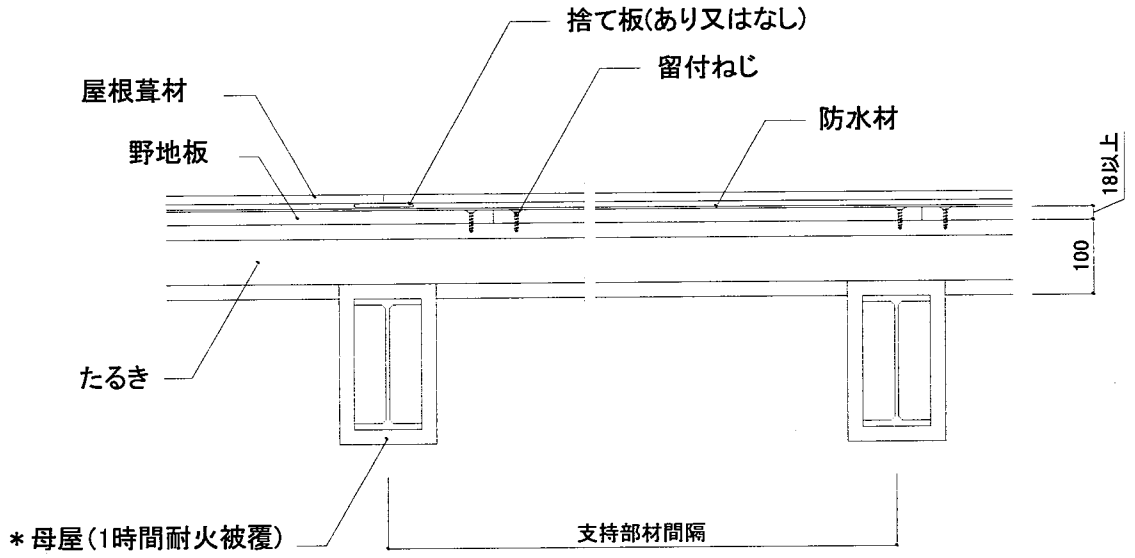


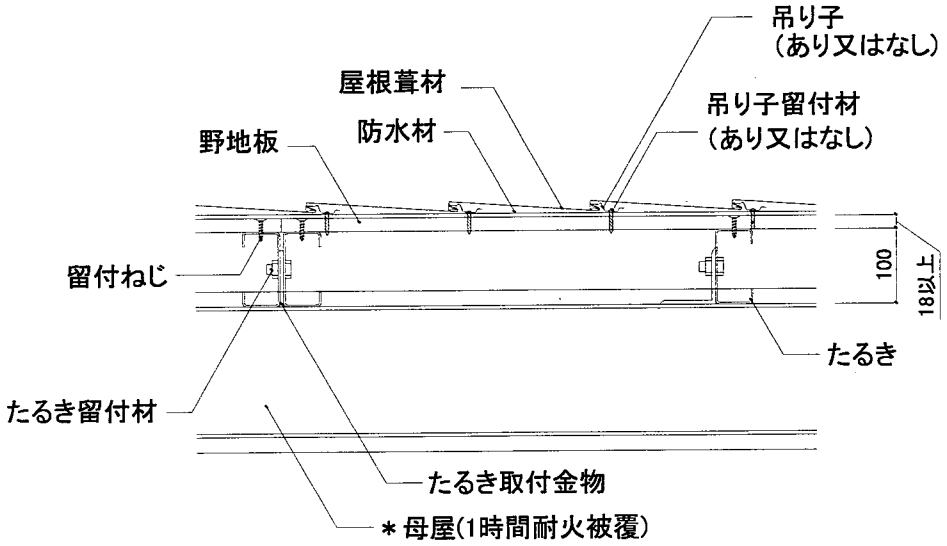
＊評価対象外

（屋根葺材の種類：④段葺きの場合）

図7　構造説明図

寸法単位：mm



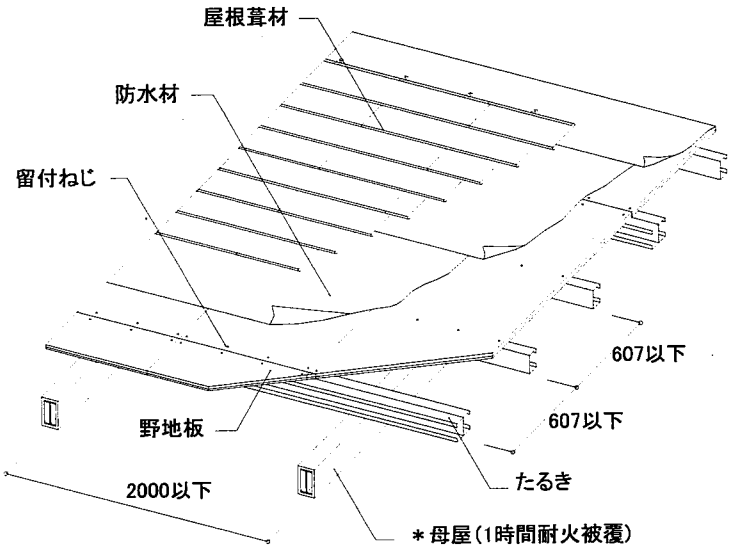


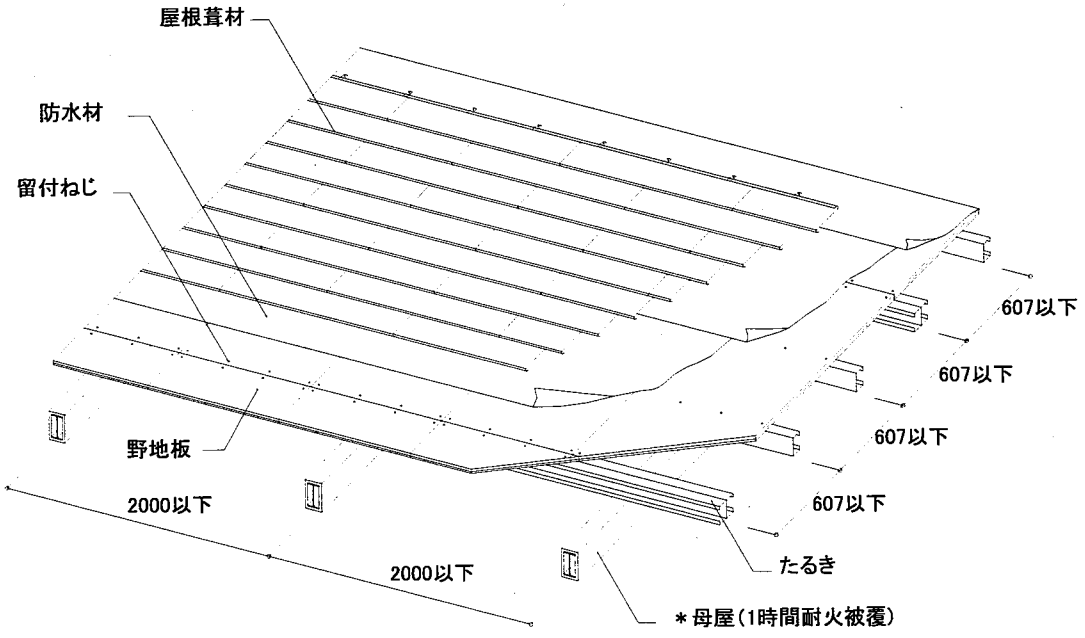
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：④段葺きの場合)

図8　構造説明図

寸法単位：mm



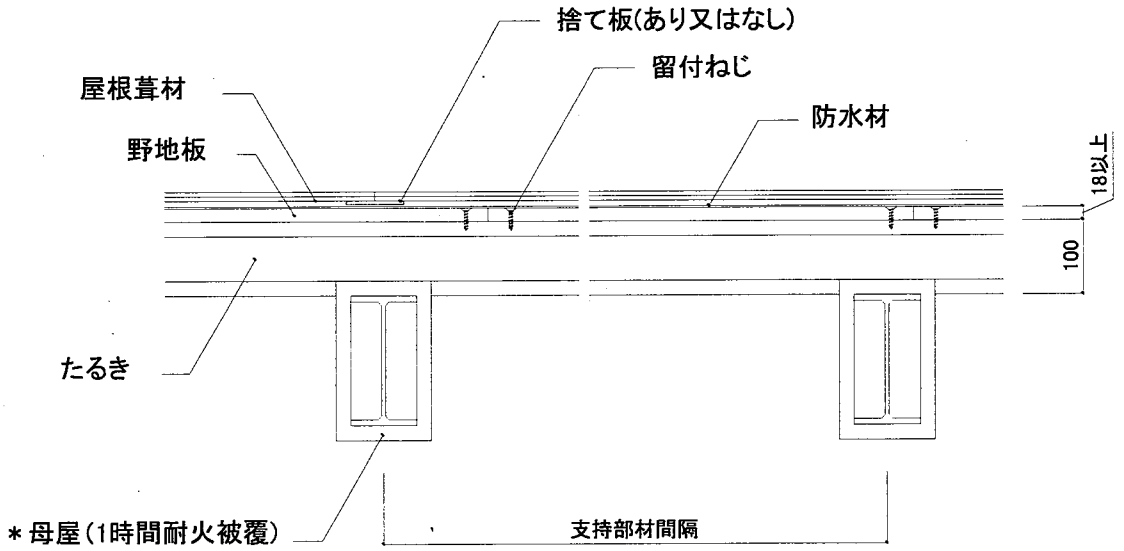


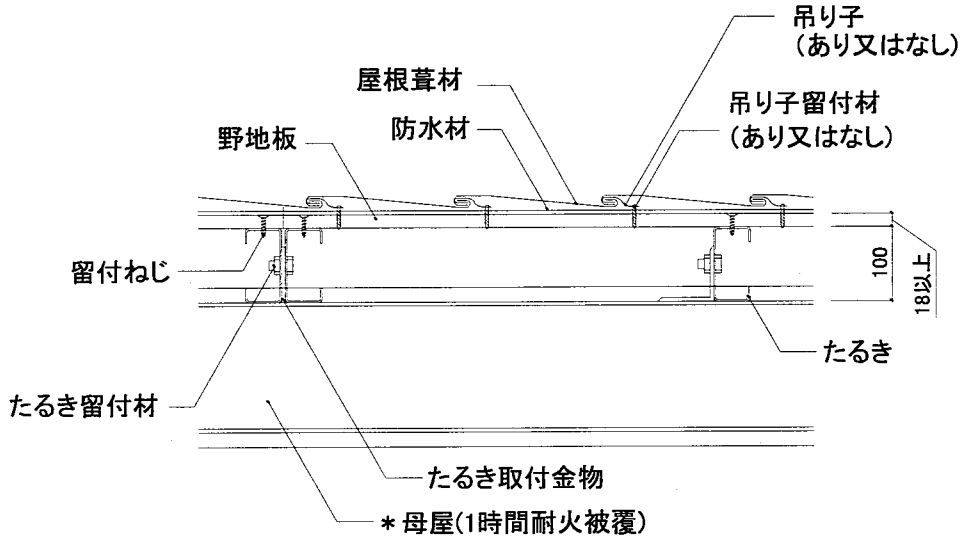
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：⑤横葺の場合)

図9　構造説明図

寸法単位：mm



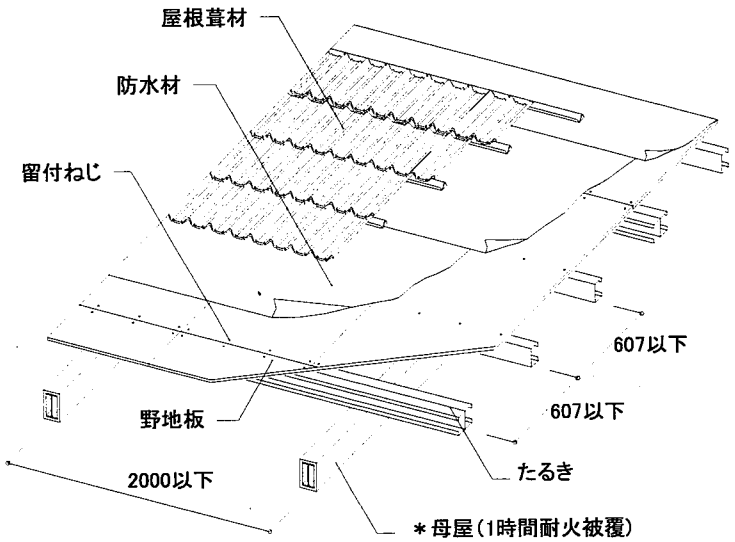


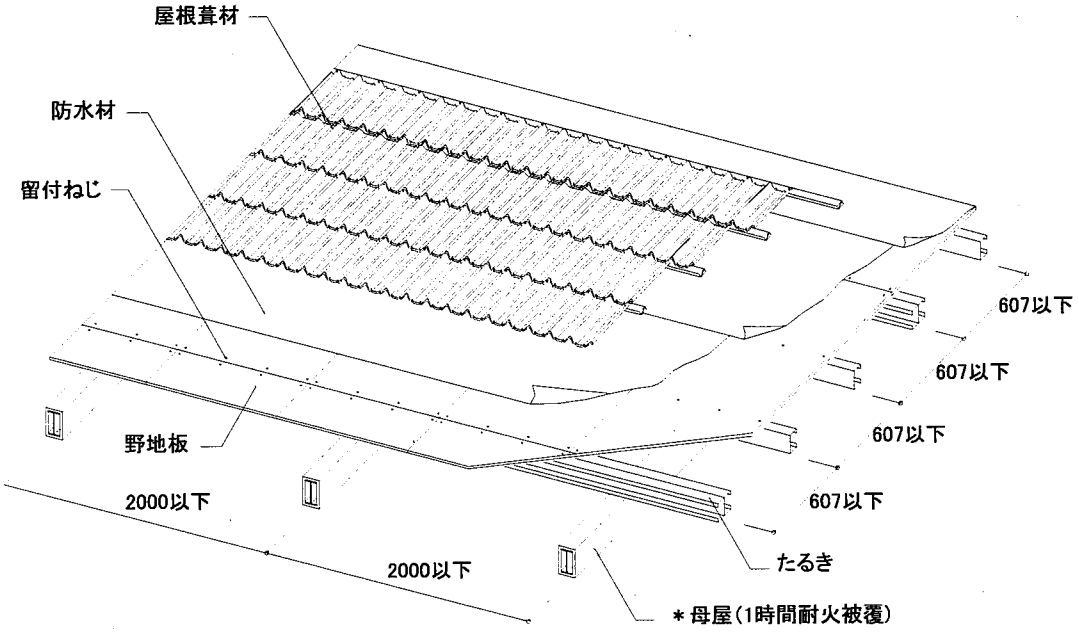
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：⑤横葺の場合)

図10　構造説明図

寸法単位：mm



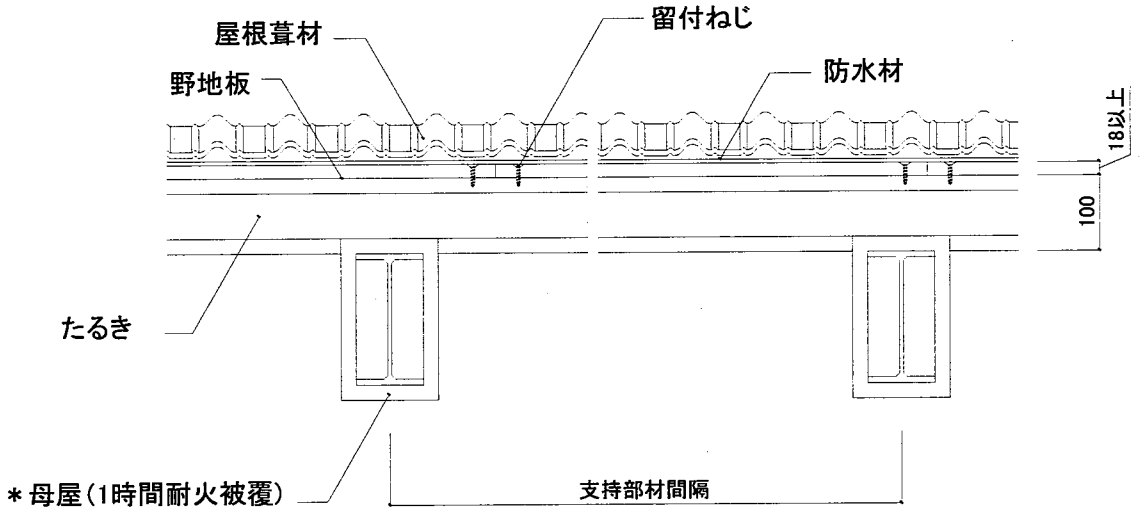


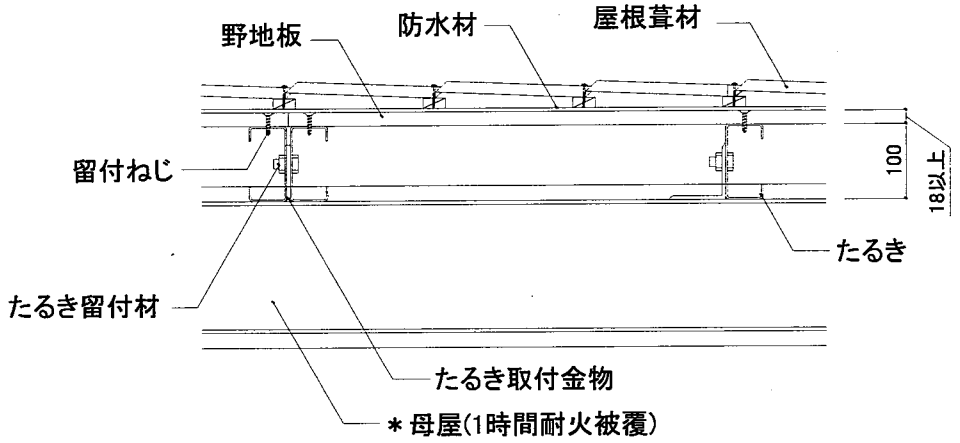
＊評価対象外

（屋根葺材の種類：⑥金属がわら葺きの場合）

図11　構造説明図

寸法単位：mm



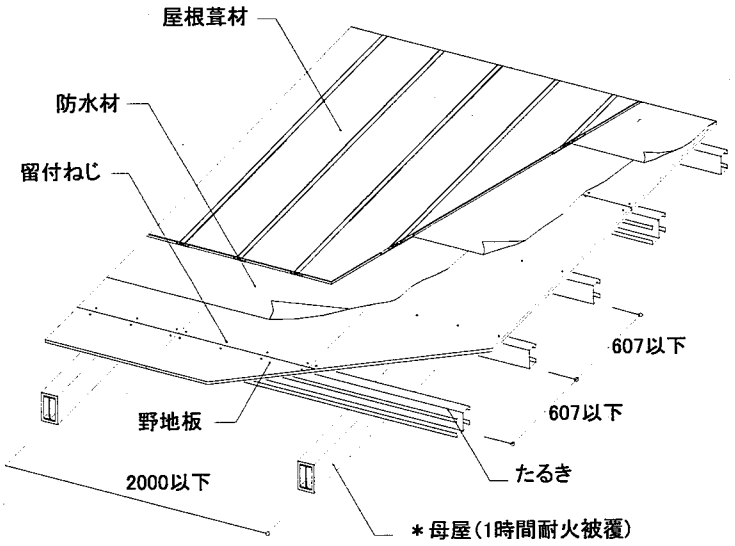


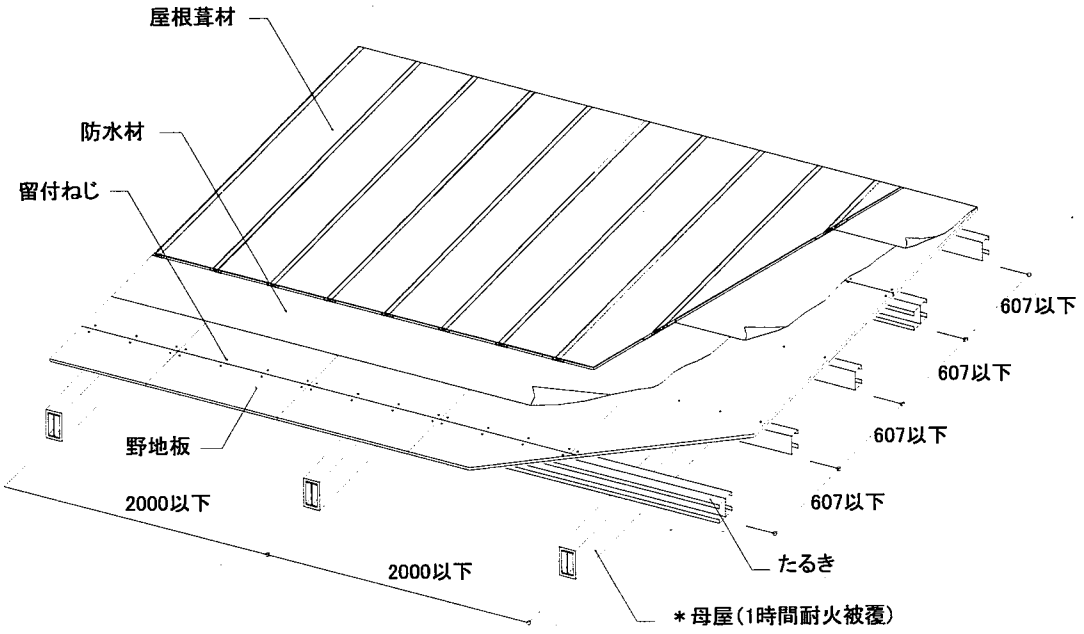
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：⑥金属がわら葺きの場合)

図12　構造説明図

寸法単位：mm



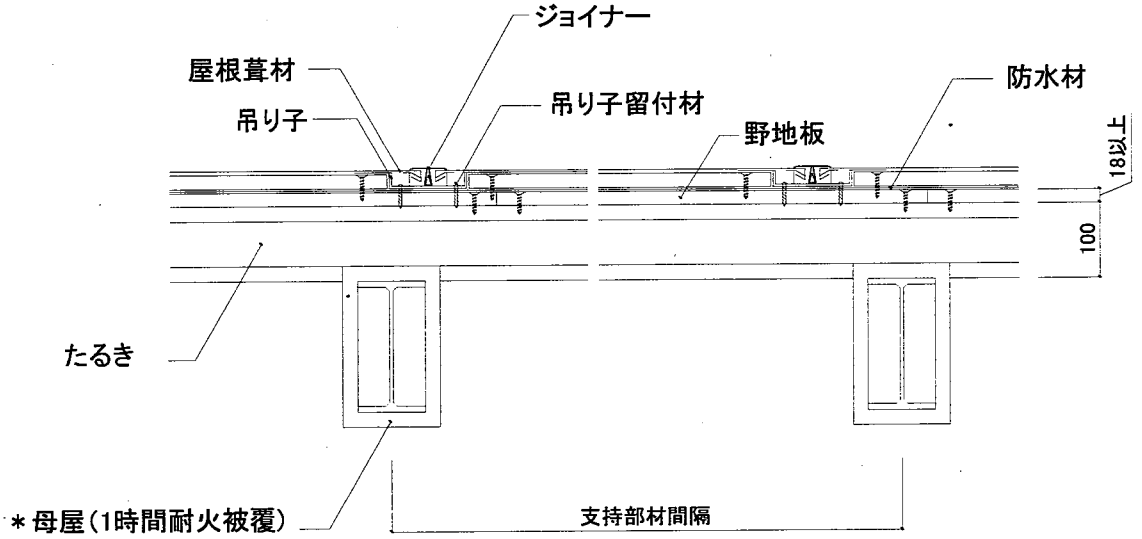


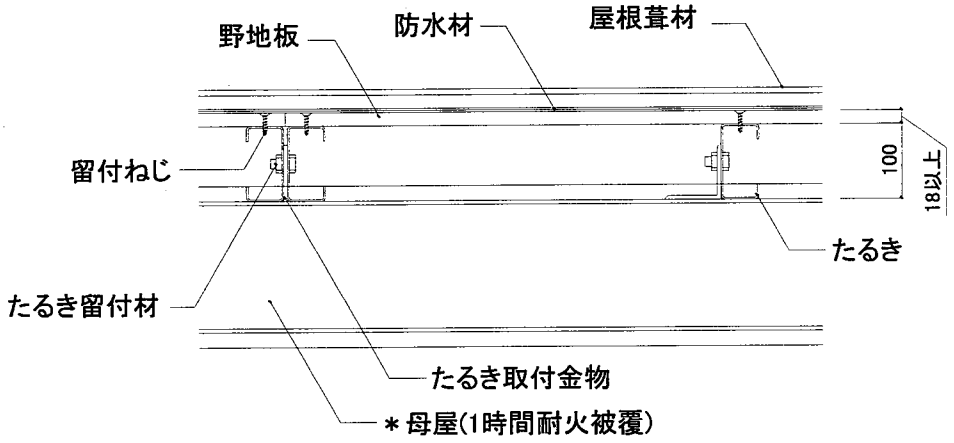
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：⑦平滑葺きの場合)

図13　構造説明図

寸法単位：mm



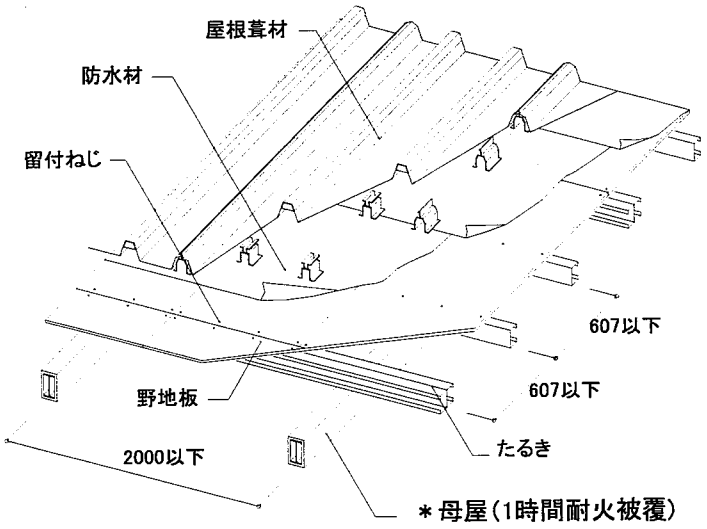


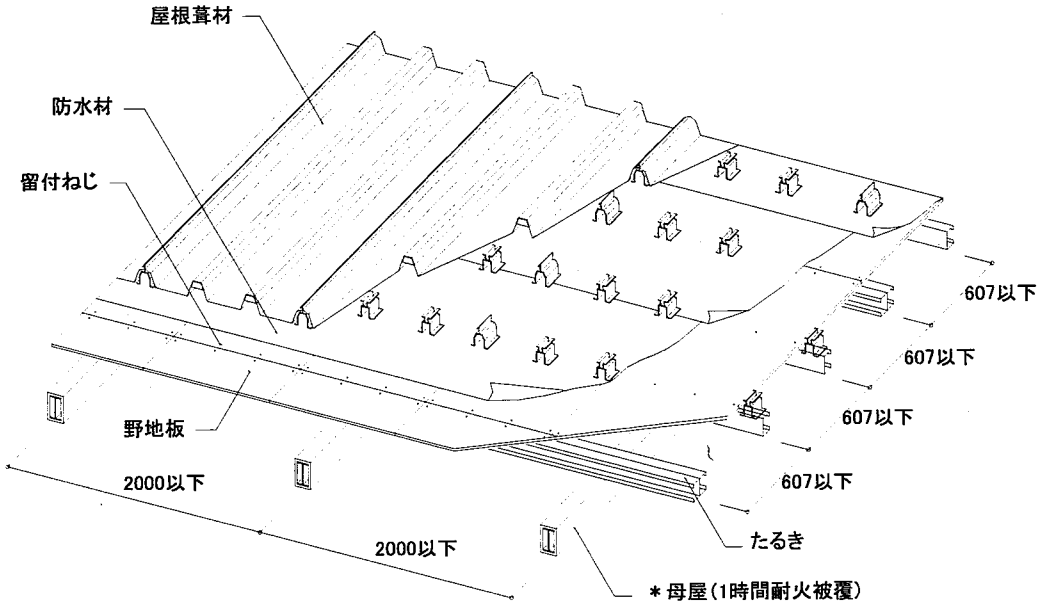
＊評価対象外

(屋根葺材の種類：⑦平滑葺きの場合)

図14　構造説明図

寸法単位：mm



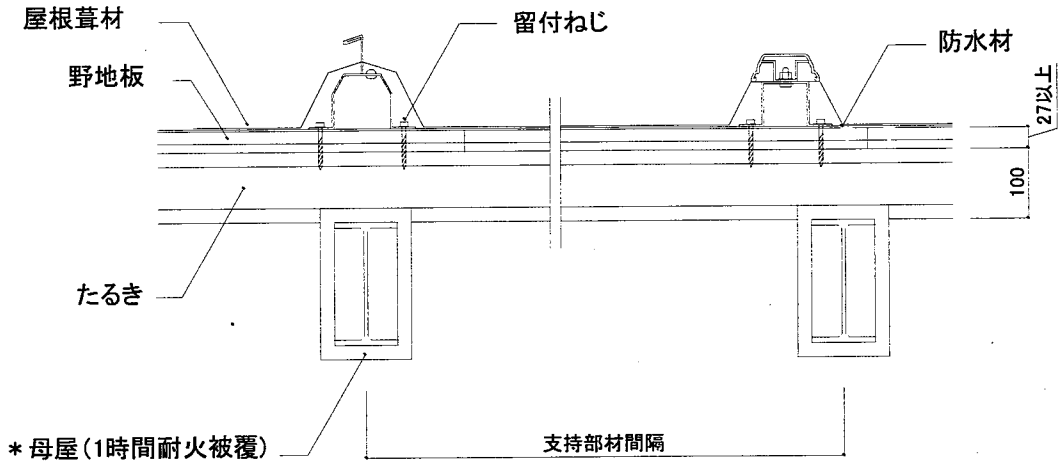


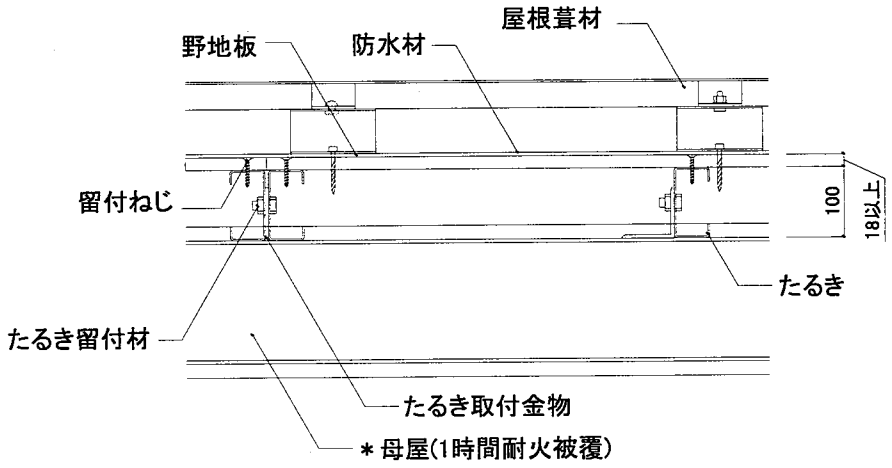
＊評価対象外

（屋根葺材の種類：⑧折板葺きの場合）

図15　構造説明図

寸法単位：mm





＊評価対象外

(屋根葺材の種類：⑧折板葺きの場合)

図16　構造説明図

単位mm

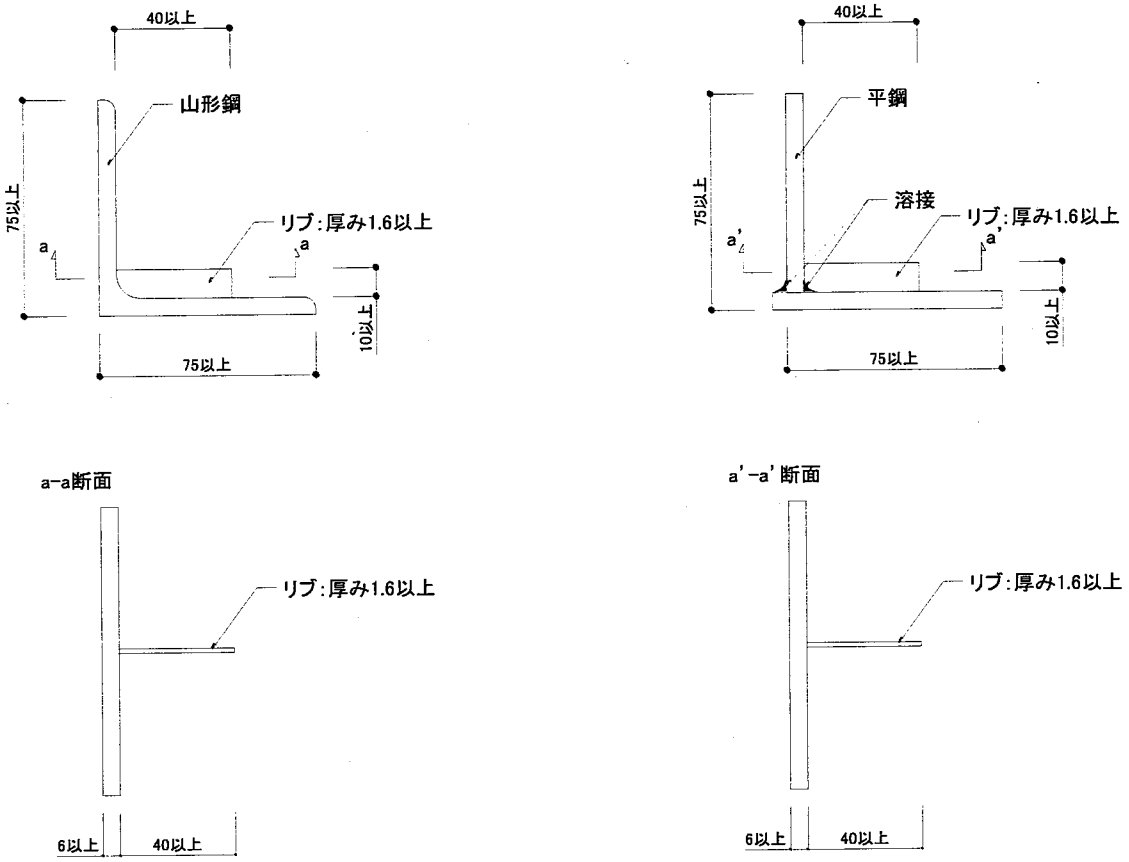


図17　構造説明図(たるき取付金物：③リブ付き山形鋼)

6. 施工方法：
施工は以下の手順で行う。

(1) 支持部材
支持部材は、構造耐力上安全なものとし耐火被覆を施す。但し、平成12年建設省告示第1399号第４第三号への規定に該当する場合には、耐火被覆を施さなくてもよい。

(2) 下地
1) たるき取付金物を、たるき間隔610㎜以下になるように、母屋等に電気溶接で取り付ける。
たるきダブル部位に用いるたるき取付金物は、たるき間隔の3倍の1820㎜以下の位置に設ける。また、たるきダブル部位にたるき取付金物の①山形鋼を用いる場合は、鋼製スペーサー等によりたるきが転倒しないように措置を講じるものとする。
2) たるき留付材を用いて、たるき取付金物にたるきを取り付ける。

(3) 野地板の取り付け
1) 割付図に従って野地板を配置する。
2) ジョイナーを用いる場合は、目地部の縦方向(たるきに対し直交方向)にジョイナーを挿入する。
3) 野地板は、野地板固定用留付材を用いて、野地板端部から100㎜以内の位置でたるきに留付ける。

(4) 防水材の張付け
1) 防水材を、重ね代100㎜以上となるように野地板の上に敷き込む。
2) 必要に応じて金属製のステープル等の留付材で仮留めする。

(5) 屋根葺き
屋根葺材を、屋根葺材固定用留付材を用いて野地板に留付ける。
吊子を用いる場合は、吊子に屋根葺材固定用留付材を用いて野地板に留付ける。